

重点戦略 ② 競争力の高い園芸産地再構築戦略

本県の基幹部門である園芸作物は、農業者の高齢化の進行や担い手不足、特定品目・品種への偏重などによる産地構造の脆弱化と消費者ニーズの多様化への対応の遅れなどにより競争力の低下を招いています。このため、県オリジナル品種など市場性の高い品種や加工・業務用に適した品目の導入、マーケット需要に対応した供給体制の整備などを進め、競争力を持った園芸産地への再構築を目指します。

今後5年を取り組む具体策

戦略的品目を核とした園芸産地の再構築

- 「果樹オリジナル品種導入プロジェクトチーム」を設置し、りんご3兄弟（「シナノスイート」・「シナノゴールド」・「秋映」）、ぶどう「ナガノパープル」など県内育成品種を始めとした有望な品目・品種の早期産地化を進めます。
- 「アスパラガス生産振興プロジェクトチーム」を設置し、単収1tどりの普及へ向けた取り組みを進めます。
- 「加工・業務用野菜生産振興プロジェクトチーム」を設置し、加工・業務用など多様な需要に対応できる品目・品種の導入支援と生産技術の確立を進めます。
- 多収栽培技術の確立や施設化、多品目化などにより収益性の向上を図るとともに、現地実証ほの設置などにより、産地の立地条件に適した新しい技術や新品目・新品種の導入を進めます。



りんごの省力多収新しい化栽培

マーケット需要に対応した供給体制の確立

- 農業団体・流通団体との連携や消費者・実需者との交流により、マーケット需要の的確な把握と産地への迅速な情報提供を進めます。
- 加工・業務用需要に対応した契約取引や地域内流通への取り組みを進めます。
- 鮮度保持流通体制の確立などにより、消費者に新鮮な農産物を届ける取組を進めます。
- 新たな有望品目の認知度を高めるため、農業団体等と連携し消費宣伝に取り組みます。
- 消費者が求める生産履歴情報の提供できる仕組みづくりを進めます。



ブロッコリーの氷詰め出荷による鮮度保持

持続性の高い安定した生産体制の確立策

- 「きのこ生産性向上・経営改善プロジェクトチーム」、「主要花き生産性向上プロジェクトチーム」を設置し、生産性を高める技術や品種の導入と安定した農業経営を維持するための多品目・複合経営への転換などを進めます。
- 産地自らが策定した「果樹産地構造改革計画」や「野菜産地強化計画」の着実な取り組みを支援します。
- 農業団体と連携し、農業経営を下支えする効果的な価格安定対策を実施します。